

「医学生・若手医師のための 第9回心身医学合同セミナー」 開催報告

会 期：2024年3月2日（土）・3日（日）

会 場：東京大学医学部教育研究棟13階 第6セミナー室

2024年3月2日（土）・3日（日）、日本心身医学会若手ワーキンググループ（以下、WG）による第9回心身医学合同セミナーが開催された。今回は、5年ぶりに念願の実地開催となった。参加者は医学生18名、初期研修医9名、その他医師2名、心理士3名の計32名であった。

1日目はまず、東京大学の吉内一浩先生から開催のご挨拶をいただいた。次に、東邦大学の小山明子先生が「心身症とは/病態仮説」、堺市立総合医療センターの阪本亮先生が「心身医学療法」の講義を行い、心身医学の基礎について参加者に学んでいただいた。その後、鹿児島大学の濱田一正先生より、気管支喘息の症例をテーマに、症例提示の講義に続いて、病態仮説のグループディスカッションと発表・解説を行った。スケジュールに余裕があったため、1日目のプログラム終了後に急遽、会場後方に設置した各医局の紹介ポスターを用いて、若手WGメンバーが各医局の紹介プレゼンテーションを行った。懇親会では、若手WGメンバーを中心に参加者同士が活発に情報交換を行った。2日目は、九州大学の宮田典幸先生が「面接法」の講義を行い、その後、1日目の症例における禁煙をテーマに、ファシリテーターを模擬患者としてロールプレイを行った。

今回のセミナーの特徴は、参加型のプログラムに多



若手ワーキンググループのメンバー

くの時間を充てたこと（グループディスカッション・発表：計約2時間、ロールプレイ：1時間40分）、プログラムの作成にかかわったWGメンバーのみがファシリテーターを行った点が挙げられる。そのため、どの班もディスカッションが深まり、質の高い議論が行われたように思う。また、懇親会が賑わったのは、各医局の紹介プレゼンテーションによって若手WGメンバーが親しみやすく感じられたことも一因ではないかと考えている。次年度以降も継続を検討したい。

最後に、若手ワーキンググループに多大なご支援をいただいている日本心身医学会に深く御礼申し上げる。

文責：山崎允宏（東京大学医学部附属病院心療内科）、
野原久司（横浜労災病院心療内科）